

# 気管支喘息について



近年気管支喘息は増加の一途をたどっている。約50年前には、我が国では全人口の1%前後と言われていたが、今や3~5%にも及ぶ様になってきた。これは我が国のみでなく国際的な動向でもあり、先進国であればあるだけその傾向は大である。しかもその多くの国が発症率の増加のみならず重症例や死亡例も増加している。

以前は肺結核が呼吸器疾患の中で重要な地位を占めていたが、肺結核の発生率が低下してきた現在では、気管支喘息が肺癌と並んで重要な地位を占めるに至った。

ところで喘息に関する考え方は最近かなりの変貌を来した。以前は喘息は気道の閉塞性変化の可逆性と反応性の亢進が重視されていた。そして気道の閉塞性の変化は気道粘膜の浮腫、気道分泌物の増加、気道平滑筋のれん縮とされていたが、最近の考え方は、気管支喘息には気道の炎症が背景にあるということである。特に好酸球性の炎症が重視されている。現在では”気管支喘息は急性増悪を伴う気道の好酸球とリンパ球の浸潤を主体とした慢性炎症性疾患である”との概念が定着している。気道の種々の刺激に対する反応性亢進も主として気道の炎症によりもたらされていることが明らかとなっている。

喘息は好酸球を主体としたアレルギー性炎症であることが明らかとなってきた。従って治療法としては、まず吸入ステロイド療法が治療の中心となってきた。すなわち、ステロイドの粉砕を用具により吸入することによりステロイドを気道に直接作用させようとするものである。この治療法が開発されて以来、気管支喘息の治療は以前と比較して容易となり、副作用も少なくなり、治療効果は格段に大きくなった。気管支喘息は早期より治療した方が余後が良いとされているので、喘鳴や長く続く咳の方は、気管支喘息専門医の診察を受けられるようにお勧めします（呼吸器内科 岸本信康）。



# せせらぎ通信 [第7号]

[2003年10月1日発行]

〒671-0221 姫路市別所町別所784  
TEL(0792)52-5235 石川病院 広報委員会  
発行責任者 事務長 三枝孝弘

地域のために 思いやりと  
信頼性の高い 治療・看護を目指す

ボランティアによる演奏会と、観測会を実施しました。

## 演奏会



バイオリン キーボード、ピアノ  
＜奏者＞江本榮梨奈さん ＜奏者＞住吉朋子さん



患者様も、懐かしい歌を唄いながら  
楽しい時間を過ごす事が出来ました。

## 「石川病院に 星空宅配便がやってくる」

火星大接近！  
オレンジ色の火星に  
縞模様がありました。

KSS(加古川宇宙科学同好会)の皆さん



9/7(日)に  
もうやってきたよ!!

本当は、お月様の中  
にうさぎはいなかつ



# 脳ドックに新しい検査が追加されました。

◇動脈硬化度（脈波伝導速度）の測定（約10分） 2900円  
 動脈硬化は知らぬ間に進んでおり、早期に検出して問題点を是正することが極めて大切です。  
 脈波伝導速度（PWV）によって太い動脈の硬化の程度がよく判ります。

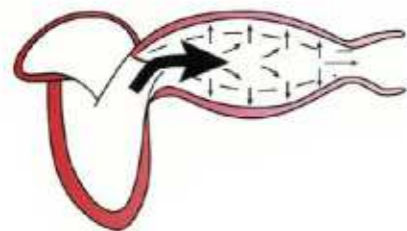
◎検査方法・・・両腕、両足首に測定バンドを付けて横になっていただきます。（痛みはありません。）

◎動脈硬化とは・・・動脈血管壁にコレステロール等の脂質が沈着し、血管の細胞が増殖したりして、血管が弾力を失い、硬くなった状態です。

危険因子は： ① 高血圧 ② 血清脂質の異常 ③ 喫煙  
 ④ 糖尿病 ⑤ 肥満です。

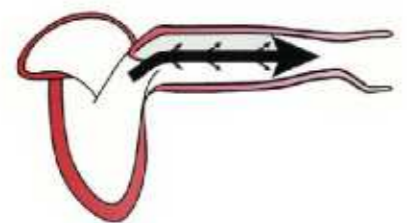
◎動脈の伸展性（心収縮時）

正常な動脈・・・心臓から排出された血圧が十分に緩衝される



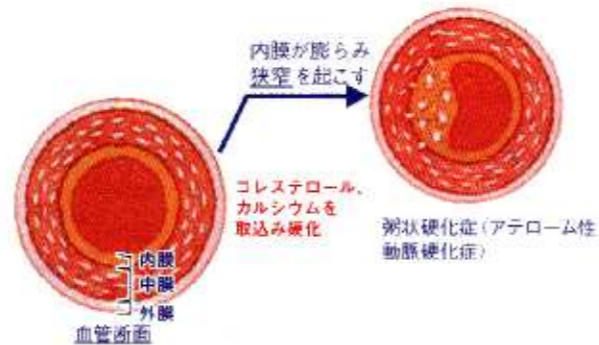
1400 cm/sec（正常値）

硬化した動脈・・・緩衝力が少ないため、衝撃は強まり、心臓への負担も増加



2300 cm/sec（ひどい場合）  
 この場合脈波伝導速度が早くなります。

◎この値を知って動脈硬化を是正しなければ、心臓の冠動脈に閉塞や狭窄が起これば狭心症や心筋梗塞、脳に起これば下肢に壊死や潰瘍ができるなど、種々の怖い血管病が起こります。



※脳ドックの他の検査についてはパンフレットをご用意しておりますのでご覧ください。

# 睡眠時無呼吸症候群(SAS)が注目されています。 この検査は当院でも可能です。（検査担当医師：藤田）

アブノモニターという簡易型の装置を使って検査を行っています。  
 2泊の入院で検査できます。日中は普段どおりの生活をしていただけです。  
 検査を希望される方は藤田医師の診察を受診されるか、担当医にご相談下さい。  
 藤田医師診察日  
 月曜日：午前10時～12時 午後1時～4時  
 木曜日：午前10時～12時  
 ☆検査結果は退院日から約1週間後の外来日を予約の上、来院していただき藤田医師よりご説明させていただきます。

## 医師紹介

### 佐藤 俊久



出身県 広島県三次市  
 診療科目 整形外科  
 趣味 囲碁、ゴルフ

三次の四季紹介  
 春・・・巴状の江の川、西城川、馬洗川の川沿いの桜  
 夏・・・400年の歴史のある鶴飼い  
 秋・・・紅葉  
 冬・・・霧に包まれる街、そして雪景色  
 抱負  
 この様な所で31年間、ポーっと暮らして参りましたので、急激な変化に対応できないかも知れませんが、まあよろしく。

### 中野 知治



出身県 兵庫県神戸市  
 診療科目 外科

趣味・特技 パソコン

抱負 皆様のお役に立てるように頑張ります。

### 横田 慶之



出身県 兵庫県姫路市  
 診療科目 内科

抱負  
 私は、神戸大学医学部に勤務しておりましたが、この度、石川病院に参りました。  
 これからは、地域医療に貢献できることを喜びとし、より一層充実した活動が出来ることを有り難く思っております。  
 今後ともよろしくお願いたします。

### 大原 忠敬



出身県 大阪府大阪市  
 診療科目 外科  
 特技 サッカー

抱負  
 神戸大学の医局を離れ、9月1日より勤務することになりました。これまでの8年間に学んだことを石川病院に来られる患者様のために活かして行きたいと考えております。新しいことを含めて積極的に取り組んでいくつもりですのでよろしくお願いいたします。